

トヨタ純正

ボディデカール サイド (アクティブ)

取付要領書

このたびはトヨタ純正ボディデカールサイド(アクティブ)をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書はボディデカールサイド(アクティブ)の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

08186-60080

構成部品

No.	品名	個数
1	ボディデカールサイド(フロント) RH	1
2	ボディデカールサイド(リヤ) RH	1
3	ボディデカールサイド(フロント) LH	1
4	ボディデカールサイド(リヤ) LH	1

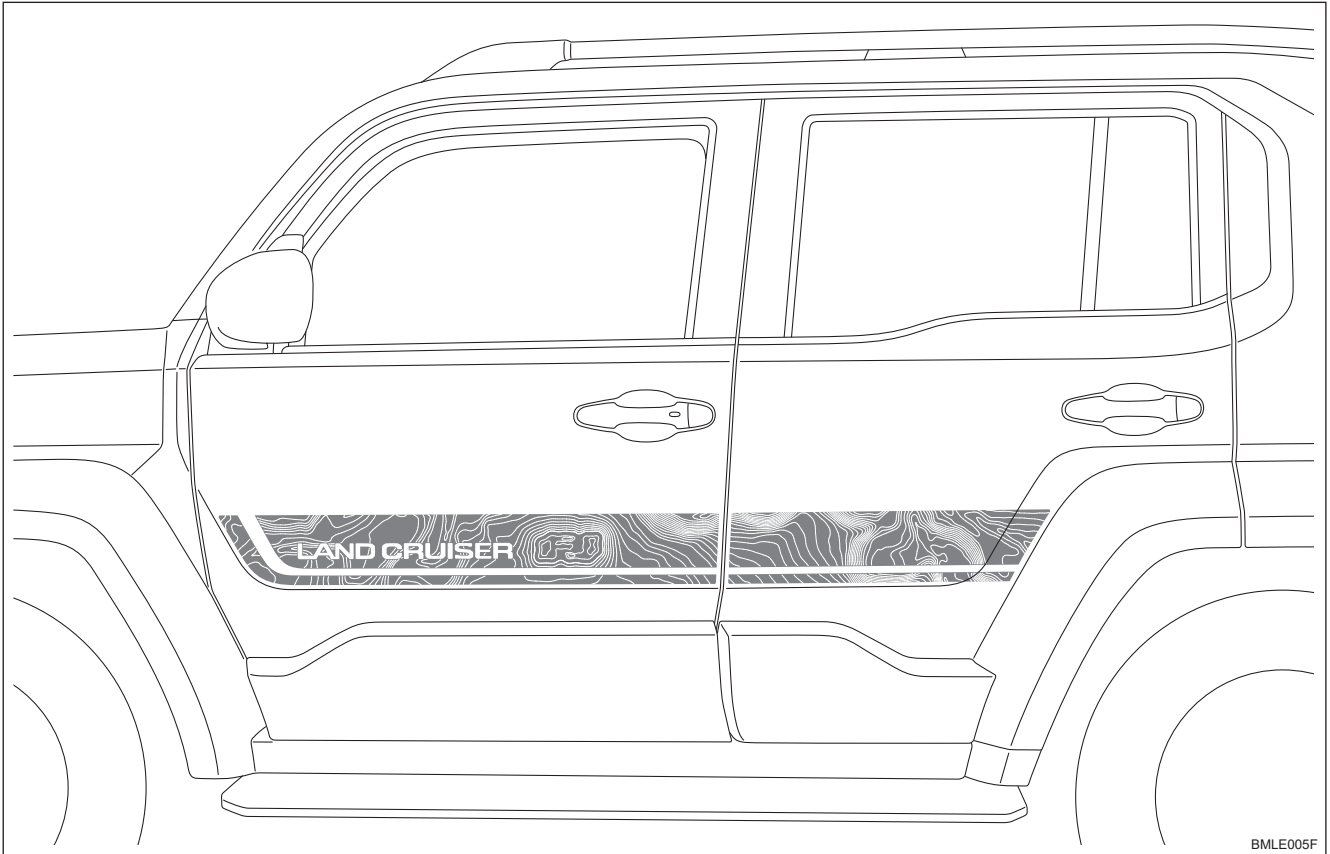
※イラスト内の○は識別位置、[]は識別形状を示しています。

補給品番

品名	品番	構成部品(各1個)
ボディデカールサイド(フロント) RH	08186-60081	1
ボディデカールサイド(リヤ) RH	08186-60082	2
ボディデカールサイド(フロント) LH	08186-60083	3
ボディデカールサイド(リヤ) LH	08186-60084	4

取付概要

図は、LH側を示します。



BMLE005F

取り付け上の注意事項

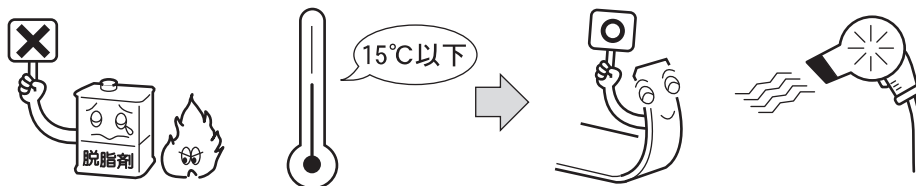
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています

アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

取り付ける前に

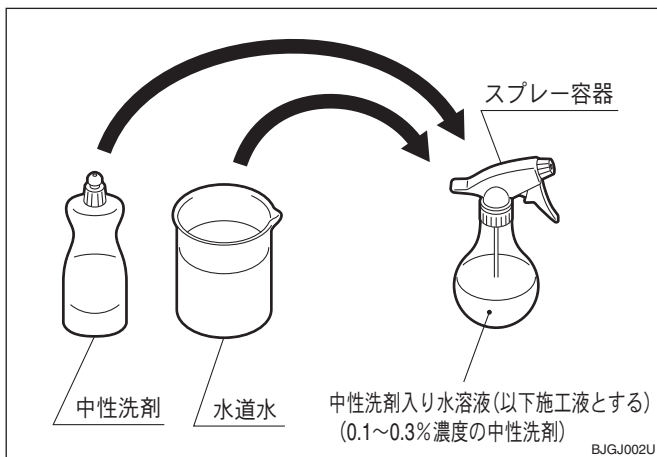
- ・取り付け部位は、脱脂剤等で十分に脱脂してください。
- ・取り付け作業時には、車両部品に傷を付けないよう充分注意してください。
- ・脱脂剤等を使用する際は、火気を近づけないよう充分注意してください。
- ・ほこりのたたない場所で作業を行ってください。
- ・末端が剥がれ、泥・砂が入り込まないように確実に圧着してください。
- ・外気温度が15℃以下の場合、ボディデカール サイド（アクティブ）の接着力が低下しますので、接着テープ及び取り付け面をドライヤー等で温めて取り付けてください。貼り付け時にボディデカール サイド（アクティブ）をドライヤーで温めると、ボディデカール サイド（アクティブ）が伸びて変形しますので、絶対に行わないでください。



取り付けに必要な工具等

中性洗剤（推奨：界面活性剤約 30～35%）、柔らかい布、水、
脱脂剤等【イソプロピルアルコール（IPA）純度 100% 推奨】、スプレー容器、
ドライヤー（外気温が 15℃以下の場合）、マスキングテープ、スキージ、布（ナイロン系）

取り付け前の準備



施工液の準備

1. 中性洗剤を水道水で 0.1～0.3% に薄め、スプレー容器に入れる。

👉 アドバイス

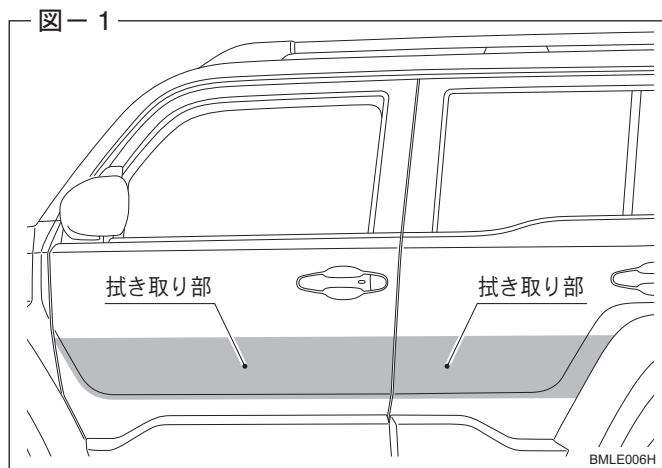
- 界面活性剤 30～35% の中性洗剤を使用した場合の濃度です。
- 界面活性剤の濃度が異なる場合は施工液の濃度が変わります。


本書では、LH 側の場合の取付要領を記載しています。RH 側についても LH 側と同様の作業を行ってください。

取付要領

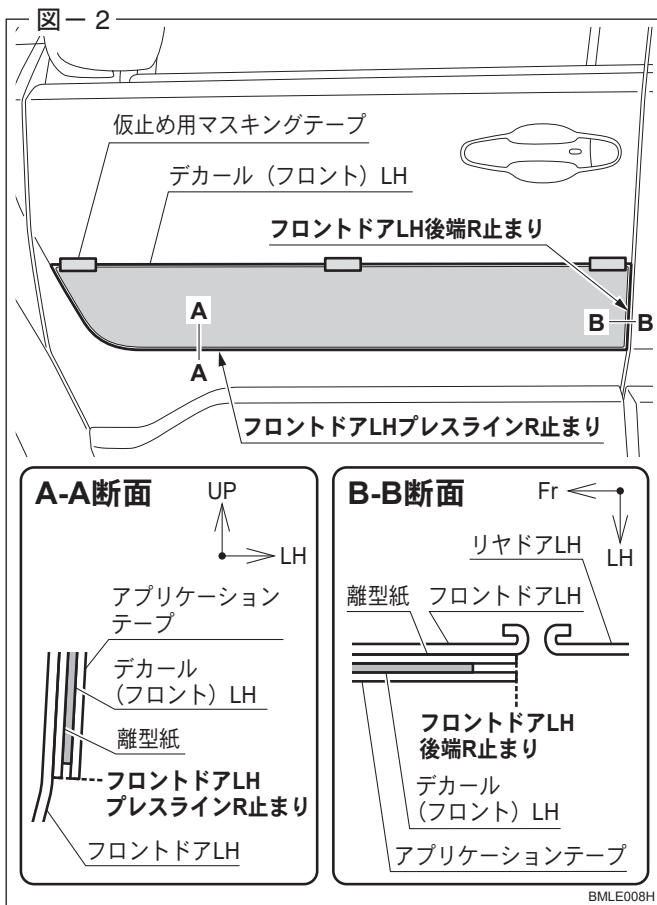
※以降のイラスト及び本文では、“ボディデカール サイド（フロント）”を“デカール（フロント）”、“ボディデカール サイド（リヤ）”を“デカール（リヤ）”と記載しています。

取り付け面の拭き取り

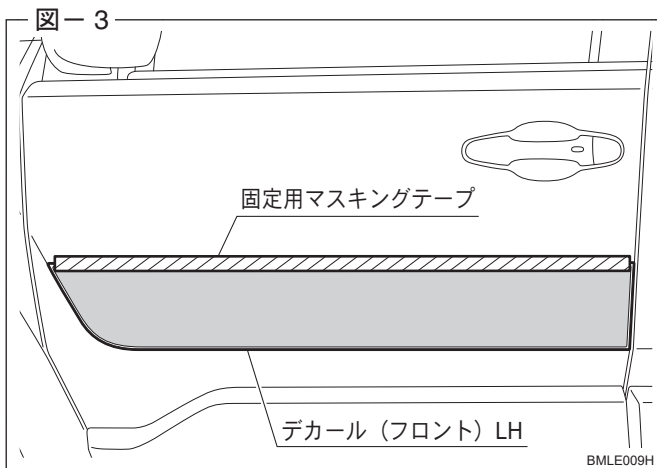


1. デカール（フロント）LH 及びデカール（リヤ）LH 取り付け面（部）の汚れ、油分や水分を脱脂剤等で確実に拭き取る。
（図-1 参照）

デカール（フロント）LH の位置決め

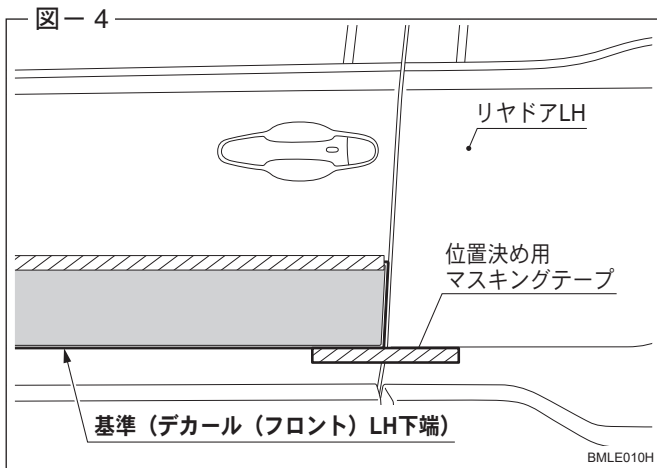


1. デカール（フロント）LH をフロントドア LH のプレスライン R 止まり（A-A 断面）及びフロントドア LH 後端の R 止まり（B-B 断面）に合わせ、マスキングテープで仮止めする。（3 箇所）（図-2 参照）

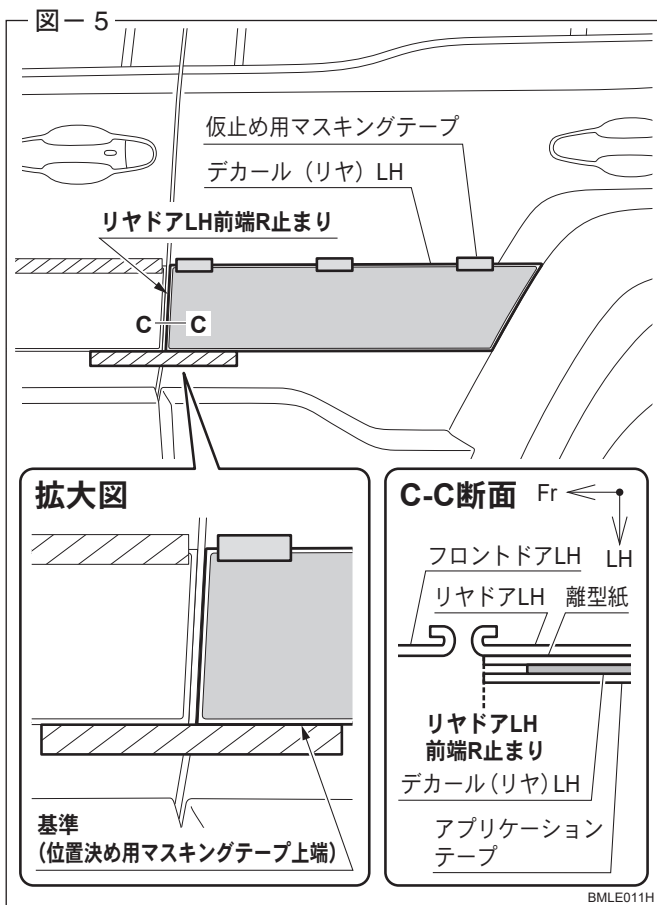


2. デカール（フロント）LH の上端を固定用マスキングテープで固定する。（図-3 参照）

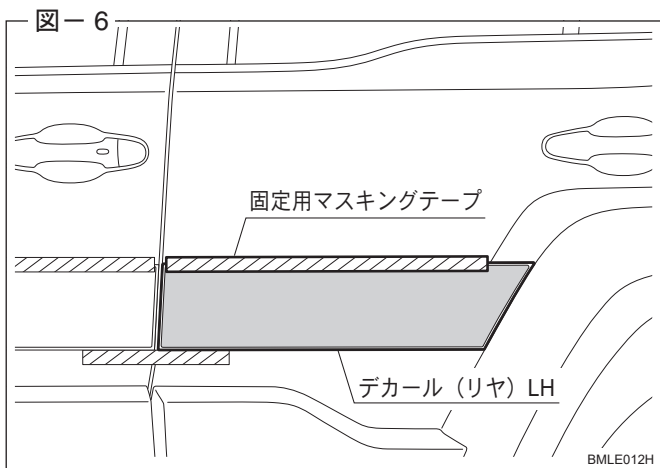
デカール（リヤ） LH の位置決め



1. デカール（フロント） LH 下端に合わせ、位置決め用マスキングテープをリヤドア LH まで貼り付ける。
（図-4 参照）

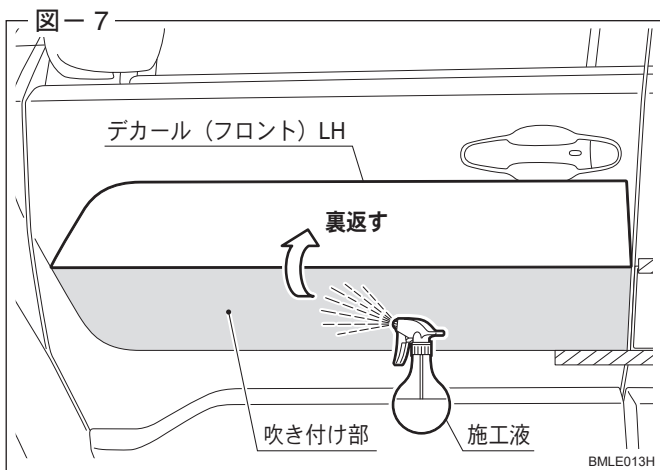


2. デカール（リヤ） LH をリヤドア LH 前端の R 止まり（C-C 断面）及び位置決め用マスキングテープ上端に合わせ、仮止め用マスキングテープで仮固定する。
（3箇所）
（図-5 参照）



3. デカール (リヤ) LH の上端を固定用マスキングテープで固定する。
(図-6 参照)

デカール (フロント) LH の貼り付け

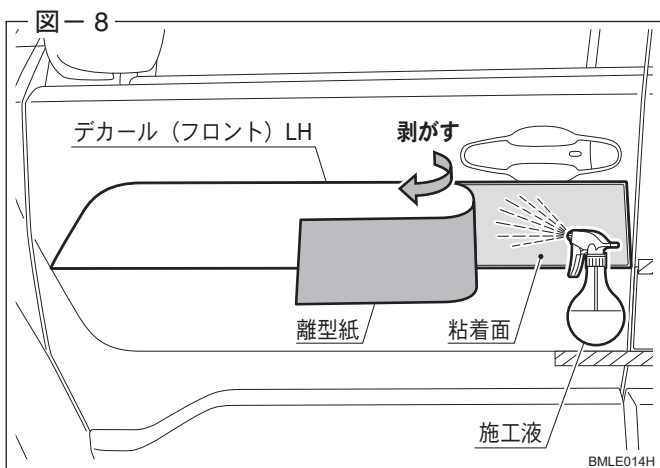


1. 固定用マスキングテープを押さえながら、デカール (フロント) LH を裏返す。

注意

固定用マスキングテープが車両から剥がれないよう作業を行ってください。

2. デカール (フロント) LH の貼り付け面 (■部) に施工液を吹き付ける。
(図-7 参照)



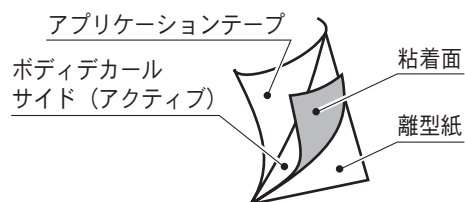
3. 離型紙をデカール (フロント) LH から剥がし、粘着面全面に施工液を吹き付ける。
(図-8 参照)

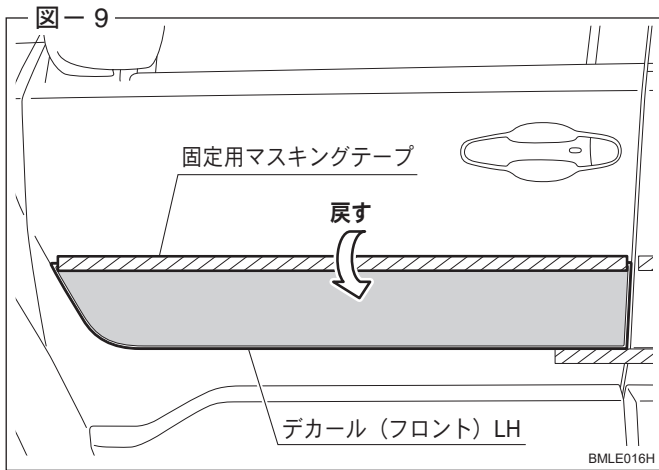
注意

- ・ 離型紙を剥がす際は、固定用マスキングテープが車両から剥がれないよう作業を行ってください。
- ・ 離型紙を剥がす際は、デカール (フロント) LH の粘着面に触れないよう作業を行ってください。触れると粘着力が弱くなります。

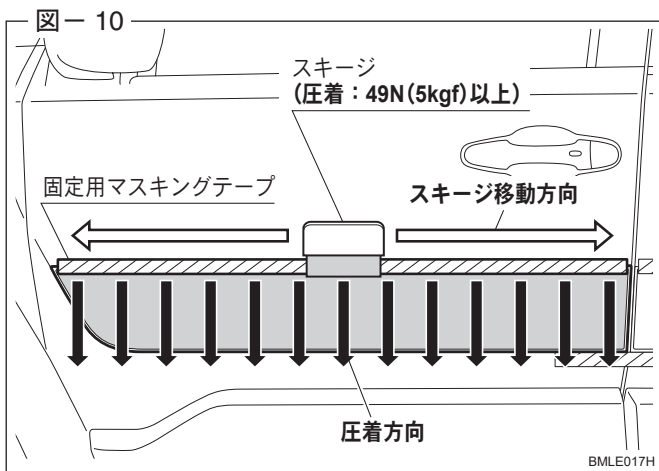
アドバイス

<ボディデカール サイド (アクティブ) の構造>





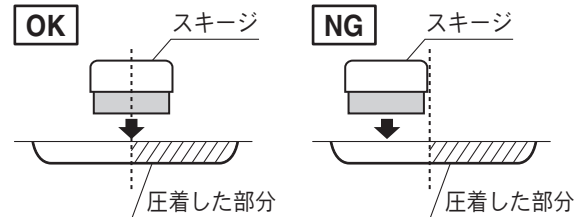
4. 固定用マスキングテープを押さえながら、デカール (フロント) LH にしわがよらないよう戻し、フロントドア LH のプレスライン R 止まり及びフロントドア LH 後端の R 止まりに合わせる。(図-2、図-9 参照)



5. スキーで下方方向に圧着 (49N (5kgf) 以上) する。その際、デカール中央から左右方向に圧着する。(図-10 参照)

注意

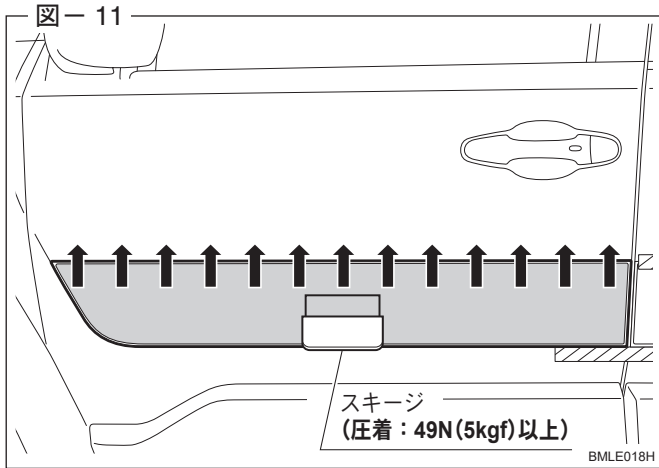
- ・ 気泡・水泡の逆流を防ぐため、押し出した気泡・水泡はこまめに柔らかい布で取り除いてください。
- ・ 水泡や気泡が残らないようにするため、必ず圧着した部分にスキーが重なるようにして、別の箇所も圧着してください。



アドバイス

布(ナイロン系)をスキーの圧着部分に取り付けると、滑りがよくなります。

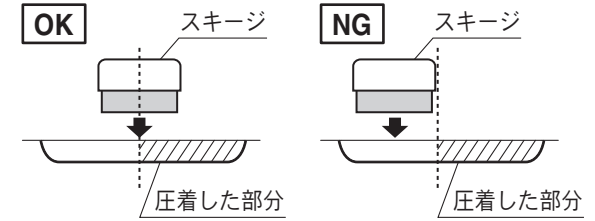
6. 固定用マスキングテープ及び仮止め用マスキングテープを剥がす。



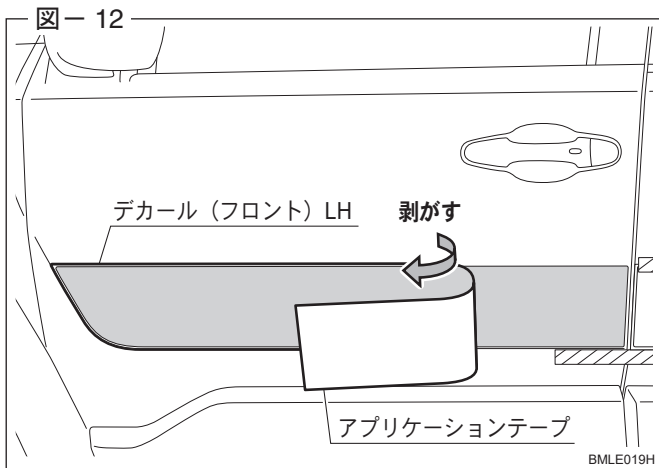
7. スキージで上方向に圧着 (49N (5kgf) 以上) する。
(図-11 参照)

注意

- ・気泡・水泡の逆流を防ぐため、押し出した気泡・水泡はこまめに柔らかい布で取り除いてください。
- ・水泡や気泡が残らないようにするため、必ず圧着した部分にスキージを重ねるようにして、別の箇所も圧着してください。



8. 残った水分を柔らかい布で拭き取る。

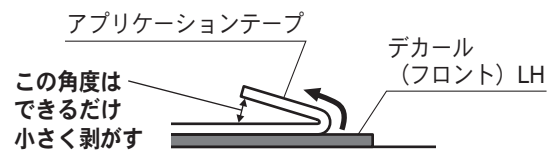


9. アプリケーションテープを矢印方向にゆっくり剥がす。
(図-12 参照)

注意

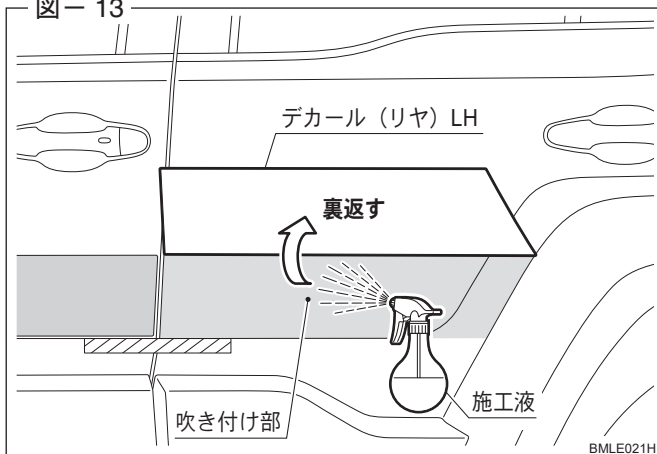
- ・デカール (フロント) LH の密着が不十分の場合は、再度アプリケーションテープの上からスキージで圧着してください。
- ・アプリケーションテープを剥がす際、水泡・気泡を確認した場合は、アプリケーションテープを一度戻しスキージで水泡・気泡を取り除いてください。

アドバイス



デカール（リヤ） LH の貼り付け

図-13



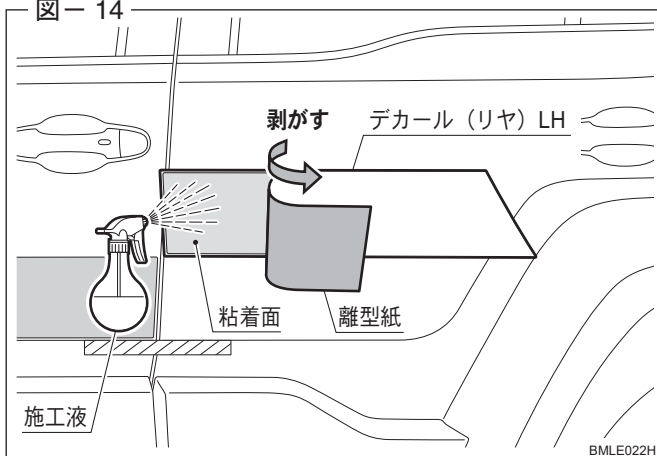
1. 固定用マスキングテープを押さえながら、デカール（リヤ） LH を裏返す。

注意

固定用マスキングテープが車両から剥がれないよう作業を行ってください。

2. デカール（リヤ） LH の貼り付け面（部）に施工液を吹き付ける。
（図-13 参照）

図-14



3. 離型紙をデカール（リヤ） LH から剥がし、粘着面全面に施工液を吹き付ける。
（図-14 参照）

注意

- ・ 離型紙を剥がす際は、固定用マスキングテープが車両から剥がれないよう作業を行ってください。
- ・ 離型紙を剥がす際は、デカール（リヤ） LH の粘着面に触れないよう作業を行ってください。触れると粘着力が弱くなります。

👉 アドバイス

<ボディデカール サイド（アクティブ）の構造>

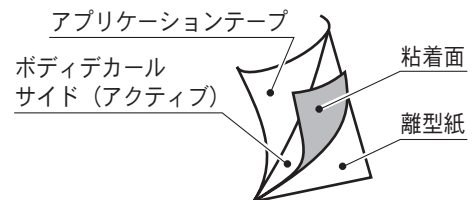
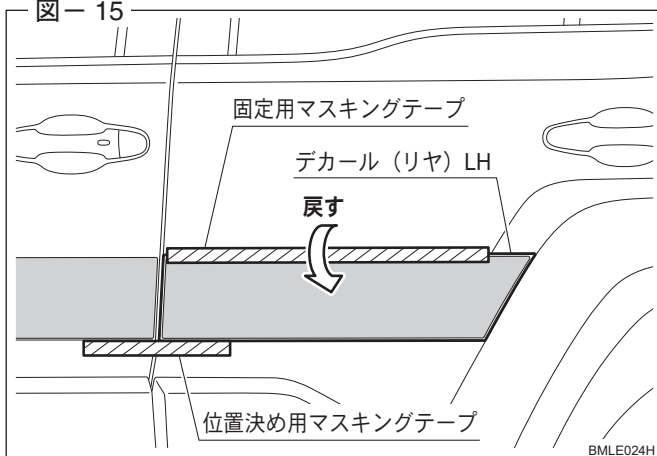
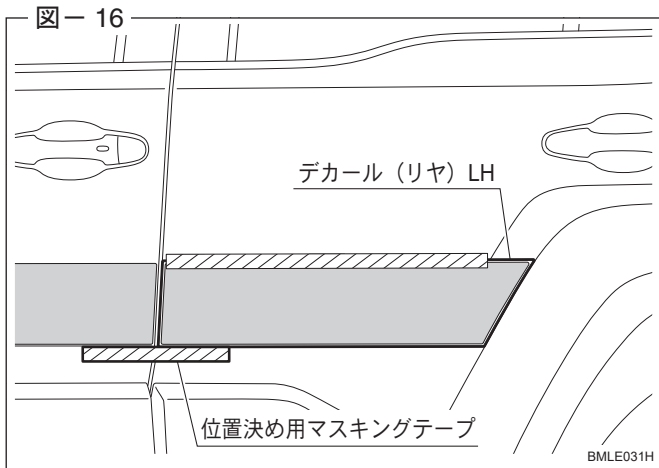


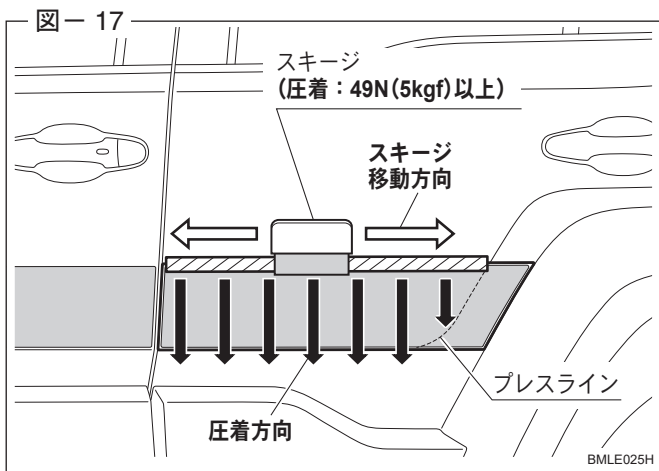
図-15



4. 固定用マスキングテープを押さえながら、デカール（リヤ） LH にしわがよらないよう戻し、リヤドア LH 前端的 R 止まり及び位置決め用マスキングテープ上端に合わせる。
（図-5、図-15 参照）



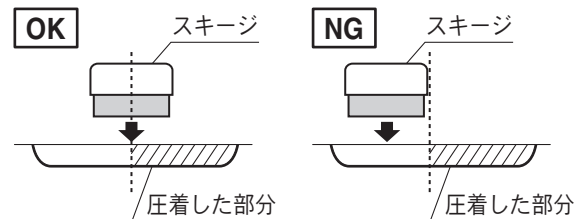
5. 位置決め用マスキングテープを剥がす。
(図-16 参照)



6. リヤドア LH のプレスラインから車両前方を、
スキーで下方向に圧着 (49N (5kgf) 以上) する。
その際、デカール中央から左右方向に圧着する。
(図-17 参照)

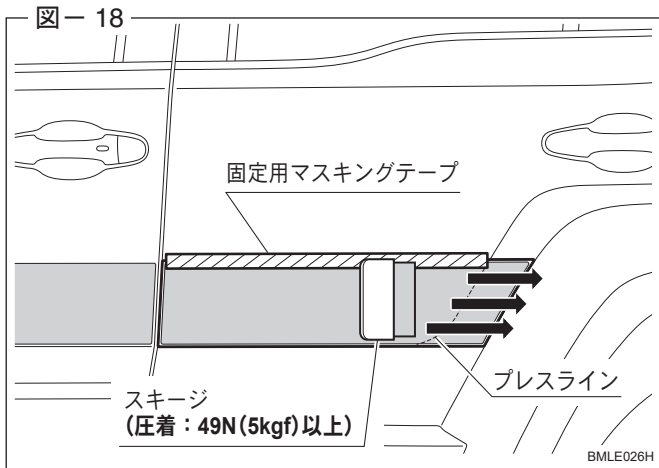
注意

- ・ 気泡・水泡の逆流を防ぐため、押し出した気泡・水泡はこまめに柔らかい布で取り除いてください。
- ・ 水泡や気泡が残らないようにするため、必ず圧着した部分にスキーが重なるようにして、別の箇所も圧着してください。



アドバイス

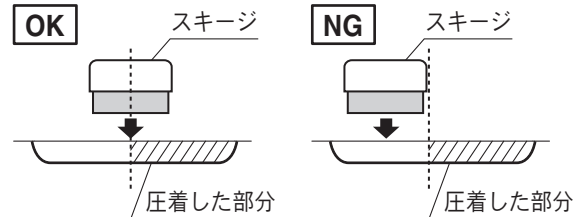
布(ナイロン系)をスキーの圧着部分に取り付けると、滑りがよくなります。



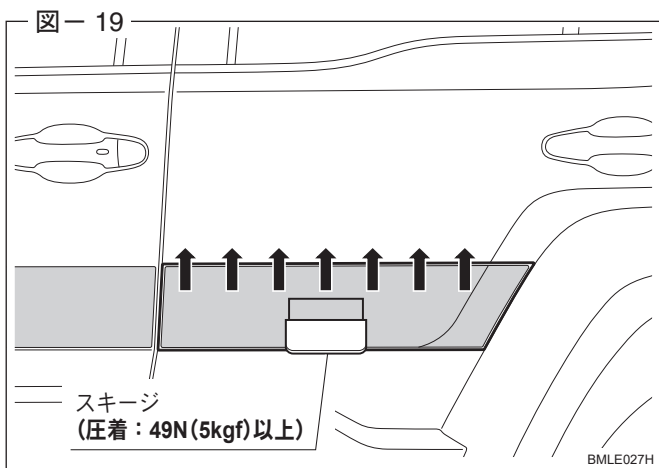
7. リヤドア LH のプレスラインから車両後方を、スキーで矢印方向に圧着 (49N (5kgf) 以上) する。その際、ボディ形状に沿わせて圧着する。(図-18 参照)

注意

- ・気泡・水泡の逆流を防ぐため、押し出した気泡・水泡はこまめに柔らかい布で取り除いてください。
- ・水泡や気泡が残らないようにするため、必ず圧着した部分にスキーが重なるようにして、別の箇所も圧着してください。



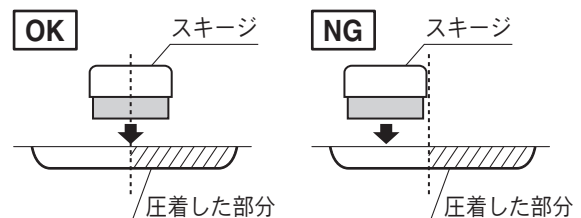
8. 固定用マスキングテープ及び仮止め用マスキングテープを剥がす。



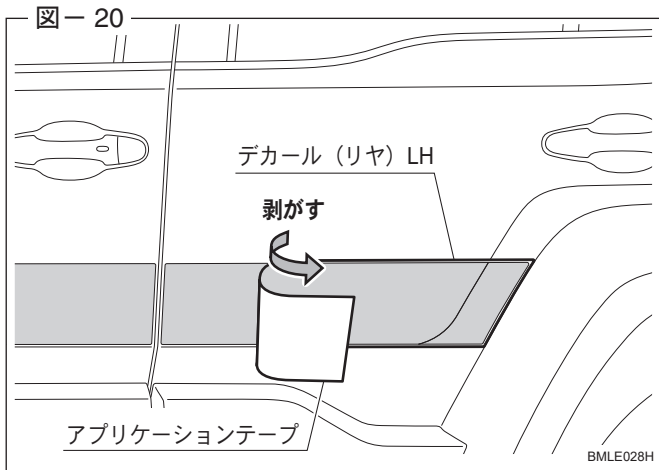
9. スキーで上方向に圧着 (49N (5kgf) 以上) する。(図-19 参照)

注意

- ・気泡・水泡の逆流を防ぐため、押し出した気泡・水泡はこまめに柔らかい布で取り除いてください。
- ・水泡や気泡が残らないようにするため、必ず圧着した部分にスキーが重なるようにして、別の箇所も圧着してください。



10. 残った水分を柔らかい布で拭き取る。

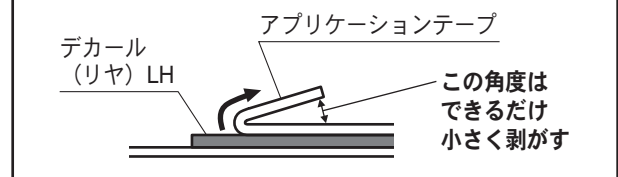


11. アプリケーションテープを矢印方向にゆっくり剥がす。
(図-20 参照)

注意

- ・デカール (リヤ) LH の密着が不十分の場合は、再度アプリケーションテープの上からスキージで圧着してください。
- ・アプリケーションテープを剥がす際、水泡・気泡を確認した場合は、アプリケーションテープを一度戻しスキージで水泡・気泡を取り除いてください。

アドバイス



取付完了後の点検・注意事項

1. 一度取り付けたものを剥がすと、伸びたり接着力が低下するので、圧着後は剥がさないでください。
2. 取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。